

投稿時のチェックリスト(提出必須)

確認項目	代表著者氏名(署名必須)	チェック欄
会員資格	著者は全員、一般社団法人日本家族看護学会の正会員である。現在入会手続き中である場合はその旨を表記している	
	著者は全員、年会費の滞納がない	
匿名での査読	投稿時の原稿中に、著者が特定される所属機関・氏名等の記載を●●等伏字にしている。	
	投稿時の原稿文中に著者が特定される表現は削除もしくは表現を変更している。(筆者は、研究者は等の表現)	
未発表論文	投稿論文の内容は、他の出版物(国の内外を問わず)にすでに発表あるいは投稿されていない。	
倫理的配慮について	投稿論文のもとになる研究は倫理指針に基づいたものである	
	捏造・改ざん・盗用などの不正行為が含まれていない	
	著者全員が以下の4要件を満たしている。 1. 研究設計、データ収集および分析への多大な寄与 2. 知的側面から重要な内容の執筆および修正 3. 論文投稿前の最終検討および承認 4. 研究の正確性や信憑性を充分検討し、問題がないことを保障するために「研究に関する全ての面」で責任を持つことに対する同意	
	著者資格の基準を満たさない研究貢献者を謝辞に貢献内容とともに記載している	
	原稿内容は投稿規定の倫理規定に準拠し、当該施設に倫理委員会等がある場合には、その承認を受けた旨を本文中に明記している。ただし、投稿時には著者が推測できないよう「●●委員会の承認(倫理承認番号:****)」といった伏字にする。	
	インフォームドコンセント/アセントを得ていることを本文中に記載している	
	個人情報保護に関して適正に行われている旨を本文中に記載している	
利益相反	著者全員 の「利益相反申告書」を添付している	
体裁について	原稿はA4判横書きで、1ページに40文字×30行とし、行数を表示している 行数はページごとに振りなおしている。英文の場合はダブルスペースとしている	
	論文の種別ごとの原稿枚数、文字数を超えていない。最終ページに字数を記載してある。(図表は1つにつき1/3頁(400字)として換算)	
	提出論文の構成は、原則として、①緒言(はじめに)、②方法、③結果、④考察、⑤結論、⑥謝辞、⑦著者の貢献、⑧利益相反、⑨文献、⑩図表とする	
	和文600字程度、英文250Words程度の要旨と和文・英文表題をつけている	
	ネイティブスピーカーまたは(医学英語)専門家のチェックを受けている。(必要時証明書の提出を求めることがある)	
	章節のはじめ方は、なるべく、I, II, …; 1, 2, …; 1), 2), …; ①, ②, …の順としている	
	図表および写真は、一枚ずつ別の頁に記載または貼付し、本文とは別にまとめてある	
	図表の挿入希望位置を本文中に記載している	
	研究費助成を受けた場合は「本論文は●●●●●の助成を受けたものである」と謝辞に記載する。	
	各著者の貢献について、文末に具体的に記載されている	
論文本文最後に利益相反の有無について記載している		
引用について	引用文献一覧は、原則40編以内、 著者名のアルファベット順 に記載されている	
	論文中の引用文献の表示は投稿規定に沿っている	
	未邦訳の尺度や調査用紙を翻訳・翻案して利用し論文中に引用する際、引用の改変をする場合著作権をもつ出版社等に許可を得ている	
	既刊の論文の引用に際して(本文・図表・尺度・質問紙項目などを含む)、出典を明記してあるか。	
ファイル内容の順番、伏字	本文のファイルは、1ページ目には「和文題名」「和文要旨」「和文キーワード」を記載し、2ページ目に「英文題名」「英文要旨」「英文キーワード」を表記する(名前や所属が記載されていない書式のファイルを作成する)次ページから「本文」を記載し、本文の末尾に「本文および図表を併せた 字数(換算後) 」を記載する。 謝辞に具体的な所属先、人名は記載せず伏字(XXや●●)としている。	